

# 2022年3月期第2四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2021年10月29日  
株式会社トプコン  
代表取締役社長 平野 聡

医

Healthcare

食

Agriculture



会社紹介  
ビデオ

# 2022年3月期第2四半期 決算説明会

I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. まとめ

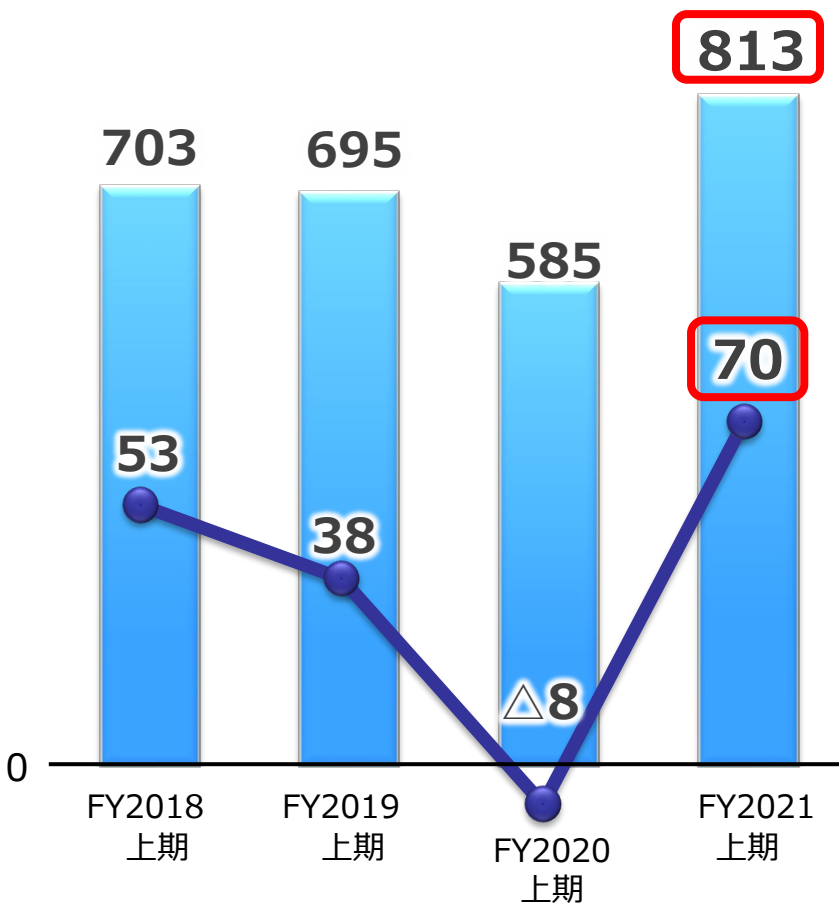
IV. 参考資料

# I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

## I-1. 2022年3月期第2四半期 決算報告

## I-2. 事業別の状況

# FY2021 上期決算概要



(単位：億円)    ■ 売上高    ● 営業利益

■ 過去最高売上 前年同期比**139%**

- 大幅増収増益
- コロナ前比でも大幅伸長

対FY2019

売上      117%

営業利益 183%

# FY2021 上期実績

## 過去最高売上、大幅増収増益

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
		上期実績	前年同期比	%
売上高	58,465	<b>81,251</b>	22,785	+39%
売上総利益 (売上総利益率)	28,389 (48.6%)	<b>41,583</b> (51.2%)	13,194	+46%
販管費	29,158	<b>34,602</b>	5,444	
営業利益 (営業利益率)	△768 (△1.3%)	<b>6,980</b> (8.6%)	7,749	
営業外損益	△1,029	<b>△695</b>	334	
経常利益	△1,797	<b>6,285</b>	8,083	
特別損益	△162	<b>495</b>	657	
税引前利益	△1,960	<b>6,781</b>	8,741	
純利益	△2,037	<b>3,883</b>	5,921	
中間配当	-	<b>10円</b>		
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	106.68 円 121.36 円	110.18円 130.97円	3.50円 9.61円

# FY2021 上期事業別実績

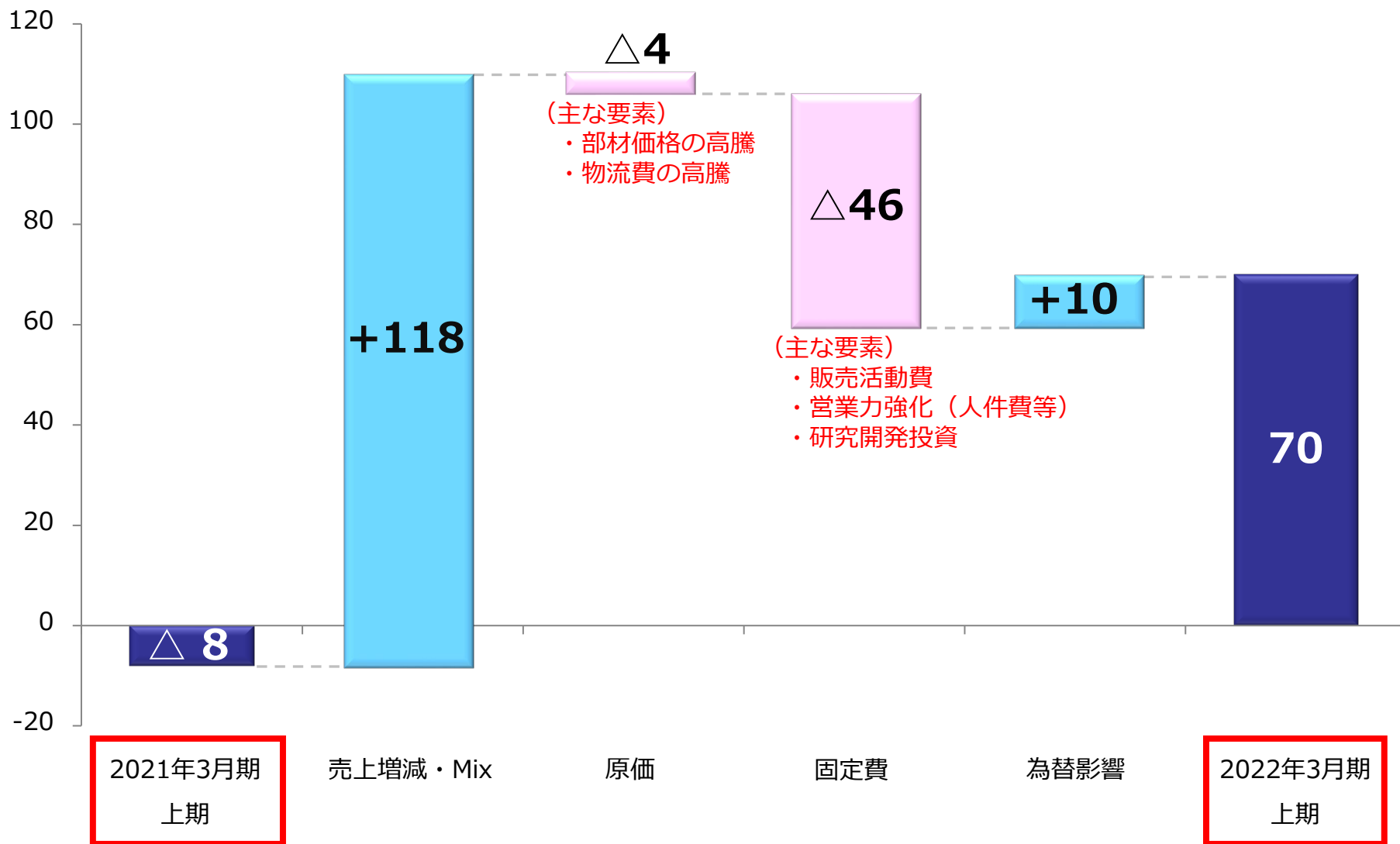
## ■ 全事業で大幅増収増益

(単位：百万円)

		FY2020	FY2021		
			上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	ポジショニング	32,141	45,279	13,138	+41%
	スマートインフラ	14,886	18,973	4,087	+27%
	アイケア	16,785	25,252	8,467	+50%
	その他	500	600	100	+20%
	消去	△5,849	△8,854	△3,005	
	合計	58,465	81,251	22,785	+39%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,157 (6.7%)	5,442 (12.0%)	3,285	+152%
	スマートインフラ	1,777 (11.9%)	3,242 (17.1%)	1,465	+82%
	アイケア	△2,388 (△14.2%)	515 (2.0%)	2,903	黒字化
	その他	△255 (△51.1%)	△162 (△27.0%)	93	-
	調整	△2,060	△2,057	3	
	合計	△768 (△1.3%)	6,980 (8.6%)	7,749	-

# FY2021 上期増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

（単位：億円）



# I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

I-1. 2022年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況



## ■ 売上高・営業利益 上期過去最高

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
	上期実績	上期実績	前年同期比	%
<b>売上高</b>	32,141	<b>45,279</b>	13,138	<b>+41%</b>
<b>営業利益</b> (営業利益率)	2,157 (6.7%)	<b>5,442</b> <b>(12.0%)</b>	3,285	<b>+152%</b>
為替 換算レート (期中平均)	USD 106.68 円	110.18 円	3.50 円	
	EUR 121.36 円	130.97 円	9.61 円	

## ■ 上期業績要因分析

### ・ 全般

- 欧米市場を中心に旺盛な需要を捉え大幅増収増益
- 部材価格や物流費の高騰影響がQ2以降顕在化

### ・ ICT自動化施工

- アフターマーケット、OEM共に販売好調継続
- コロナ前比でも大幅伸長

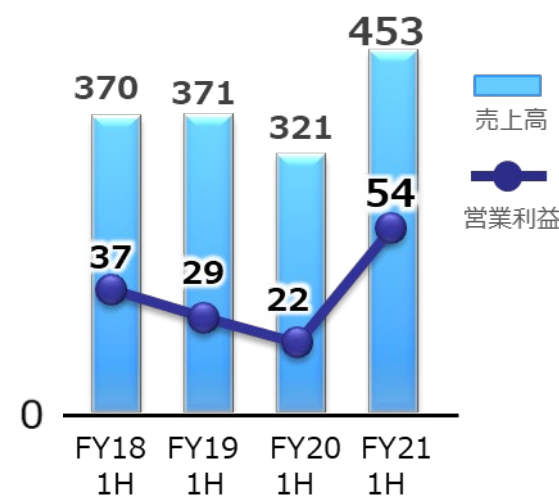
### ・ IT農業

- アフターマーケット、OEM共に販売好調継続
- コロナ前比でも大幅伸長

### ・ 測量・レーザー

- 欧米住宅建設市場の活況継続

売上高・損益推移 (単位：億円)



## ■ 売上高・営業利益 上期過去最高

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021		
	上期実績	上期実績	前年同期比	%
売上高	14,886	<b>18,973</b>	4,087	<b>+27%</b>
営業利益 (営業利益率)	1,777 (11.9%)	<b>3,242</b> (17.1%)	1,465	<b>+82%</b>
為替 換算レート (期中平均)	USD 106.68 円	110.18 円	3.50 円	
	EUR 121.36 円	130.97 円	9.61 円	

## ■ 上期業績要因分析

### ・ 全般

- 国内は堅調、欧米は力強い販売成長が継続
- 部材価格の高騰影響がQ2以降顕在化

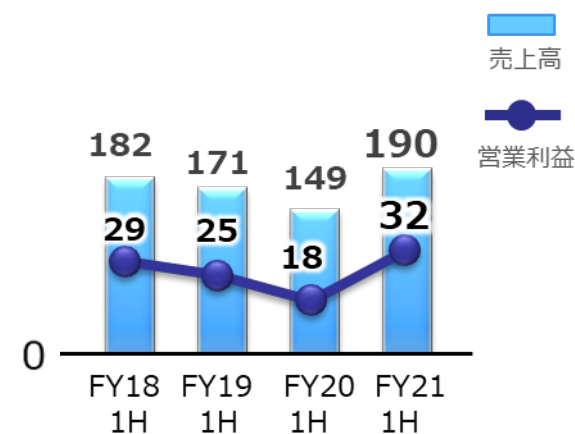
### ・ 国内

- 測量：トータルステーション販売好調
- ICT自動化施工：小型建機用ショベルシステムの普及本格化
- IT農業：補助金効果の反動による一時的な需要減

### ・ 欧米

- 欧米住宅建設市場活況で測量、レーザー販売好調継続

売上高・損益推移 (単位：億円)



## 売上高 上期過去最高、黒字化

(単位：百万円)

	FY2020		FY2021	
	上期実績		上期実績	前年同期比 %
売上高	16,785		25,252	8,467 +50%
営業利益 (営業利益率)	△2,388 (△14.2%)		515 (2.0%)	2,903 黒字化
為替 換算レート (期中平均)	USD 106.68 円		110.18 円	3.50 円
	EUR 121.36 円		130.97 円	9.61 円

## 上期業績要因分析

### ・全般

- 欧米・中国市場を中心に販売好調持続
- 部材価格や物流費の高騰影響がQ2以降顕在化

### ・スクリーニングビジネス

- 大手眼鏡チェーン店の需要拡大、スクリーニング機器販売伸長

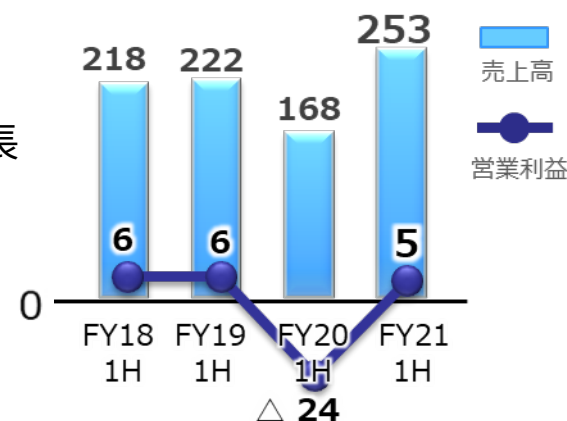
### ・検眼システム

- リモート検眼需要が引き続き堅調

### ・中国

- 設備投資やスクリーニング需要の拡大により  
売上好調継続、眼底カメラ販売伸長

売上高・損益推移 (単位：億円)



# Ⅱ. 2022年3月期 通期見通し

## Ⅱ-1. 2022年3月期 通期見通し

## Ⅱ-2. 事業別トピックス

# FY2021 通期見通し

## ■ 上方修正 営業利益**125%**（前年度比**190%**）

### マクロ環境の見通し

- ・ 住宅・インフラ投資は先進国中心に好調継続、穀物価格も高値圏で推移
- ・ 欧米の眼科・眼鏡店市場ではコロナ影響から脱し設備投資意欲が改善
- ・ 部材価格や物流費の高騰影響が拡大
- ・ 部材不足による生産への影響で出荷・売上遅延が顕在化

上期実績及び今後の事業環境を鑑み、以下の通り業績見直しを見直す

### 新公表値

下期為替前提：\$=108円/€=128円は変更なし

	旧公表値 (7/30)	新公表値 (10/29)	旧公表値比	前年度 (FY2020)	前年度比
売上高	1,490億円	<b>1,600億円</b>	+7%	1,372億円	+17%
営業利益	100億円	<b>125億円</b>	+25%	66億円	+90%
経常利益	80億円	<b>105億円</b>	+31%	56億円	+88%
純利益	50億円	<b>65億円</b>	+30%	24億円	+174%
配当	20円	<b>20円</b>		10円	

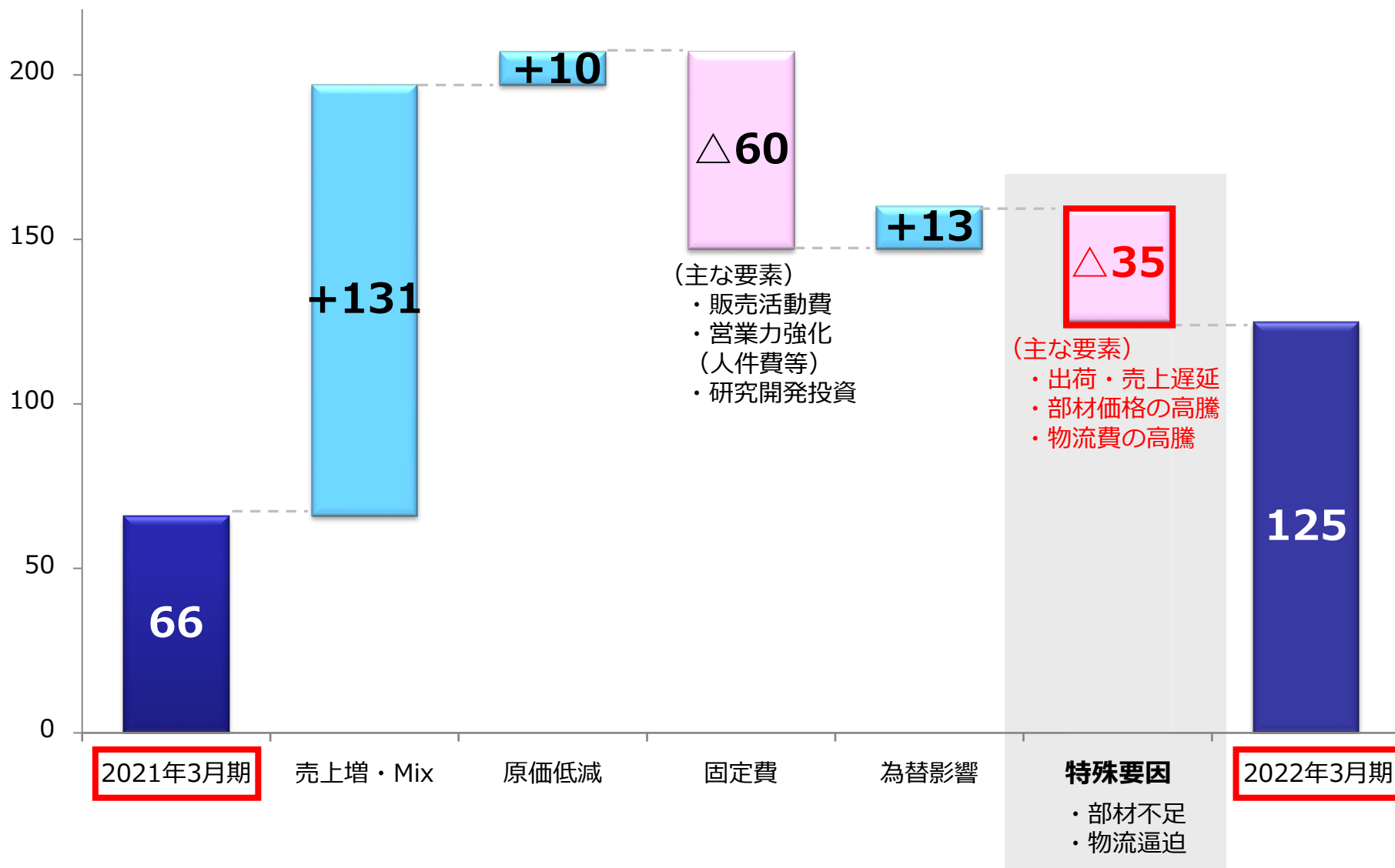
# 部材不足・物流逼迫の状況

## 可能な限りの対策を講じるも影響拡大は不可避

	状 況	対 策	影 響
部材不足	<ul style="list-style-type: none"><li>半導体関連部材を中心に需給逼迫</li><li>納入時期・量が不安定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生産販売計画の適宜調整</li><li>部材の先行発注</li><li>不足部材の市中からの調達</li><li>代替部材使用のための設計変更</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 部材価格の高騰</li><li>✓ 出荷・売上遅延</li></ul>
物流逼迫	<ul style="list-style-type: none"><li>コンテナ不足による物流費高騰</li><li>航空便減少によるスペース逼迫・費用高騰</li><li>コロナ影響による港湾の荷役遅延</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>コンテナの先行確保 代替航路の活用</li><li>コンテナ遅延分の航空便での代替輸送</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 物流費の高騰</li><li>✓ 出荷・売上遅延</li></ul>

# FY2021 増減益分析 (営業利益ベース:前年度比)

(単位: 億円)



# FY2021 通期見通し

■ 前年度比 売上117%、営業利益190%、純利益2.7倍

(単位：百万円)

	FY2020		FY2021			2021年 7月30日 公表値
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	
売上高	58,465	137,247	81,251	160,000	+17%	149,000
営業利益 (営業利益率)	△768 (△1.3%)	6,593 (4.8%)	6,980 (8.6%)	12,500 (7.8%)	+90%	10,000 (6.7%)
経常利益	△1,797	5,587	6,285	10,500	+88%	8,000
純利益	△2,037	2,376	3,883	6,500	+174%	5,000
ROE		3.6%		9%		7%
配当	-	10円	10円	20円		20円
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	106.68円 121.36円	106.17円 123.73円	110.18円 130.97円	(下期前提 レート) 108円 128円	108円 128円



# FY2021 通期見通し (事業別)

(単位：百万円)

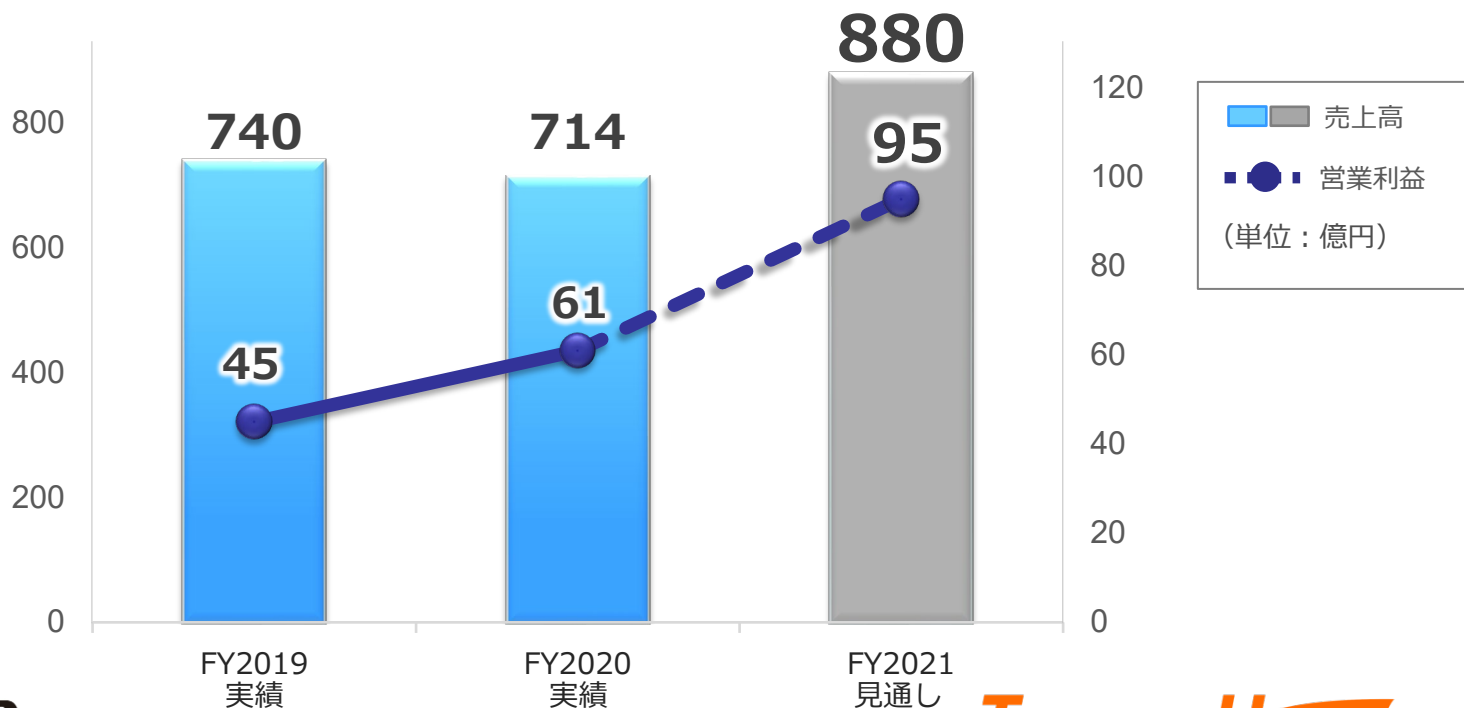
		FY2020		FY2021			
		上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	2021年 7月30日 公表値
売上高	ポジショニング	32,141	71,416	45,279	88,000	+23%	78,000
	スマートインフラ	14,886	33,982	18,973	37,000	+9%	36,000
	アイケア	16,785	44,251	25,252	52,000	+18%	50,000
	その他	500	1,165	600	1,000	△14%	1,000
	消去	△5,849	△13,568	△8,854	△18,000		△16,000
	合計	58,465	137,247	81,251	160,000	+17%	149,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,157 (6.7%)	6,064 (8.5%)	5,442 (12.0%)	9,500 (10.8%)	+57%	7,000 (9.0%)
	スマートインフラ	1,777 (11.9%)	4,972 (14.6%)	3,242 (17.1%)	5,000 (13.5%)	+1%	5,000 (13.9%)
	アイケア	△2,388 (△14.2%)	122 (0.3%)	515 (2.0%)	2,500 (4.8%)	+1,949%	2,500 (5.0%)
	その他	△255 (△51.1%)	△536 (△46.0%)	△162 (△27.0%)	△300 (△30.0%)	-	△300 (△30.0%)
	調整	△2,060	△4,028	△2,057	△4,200		△4,200
	合計	△768 (△1.3%)	6,593 (4.8%)	6,980 (8.6%)	12,500 (7.8%)	+90%	10,000 (6.7%)

# Ⅱ. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 事業別トピックス

- ICT自動化施工：  
好調持続、技能従事者不足に伴う自動化ニーズ拡大も追い風
- IT農業：  
高水準の穀物価格を背景に農家の旺盛な設備投資需要が継続
- 米国テストサイトの移転・拡充
- 部材不足・部材価格や物流費の高騰影響拡大



### ICT自動化施工/IT農業の最先端開発・評価環境を整備

米国カリフォルニア州 (Livermore, CA)

#### 開発用テストサイトの大幅拡張

- 敷地面積 約24ヘクタール **現状の5倍!**  
**2022年竣工予定**
- ポジショニング本社オフィスに隣接

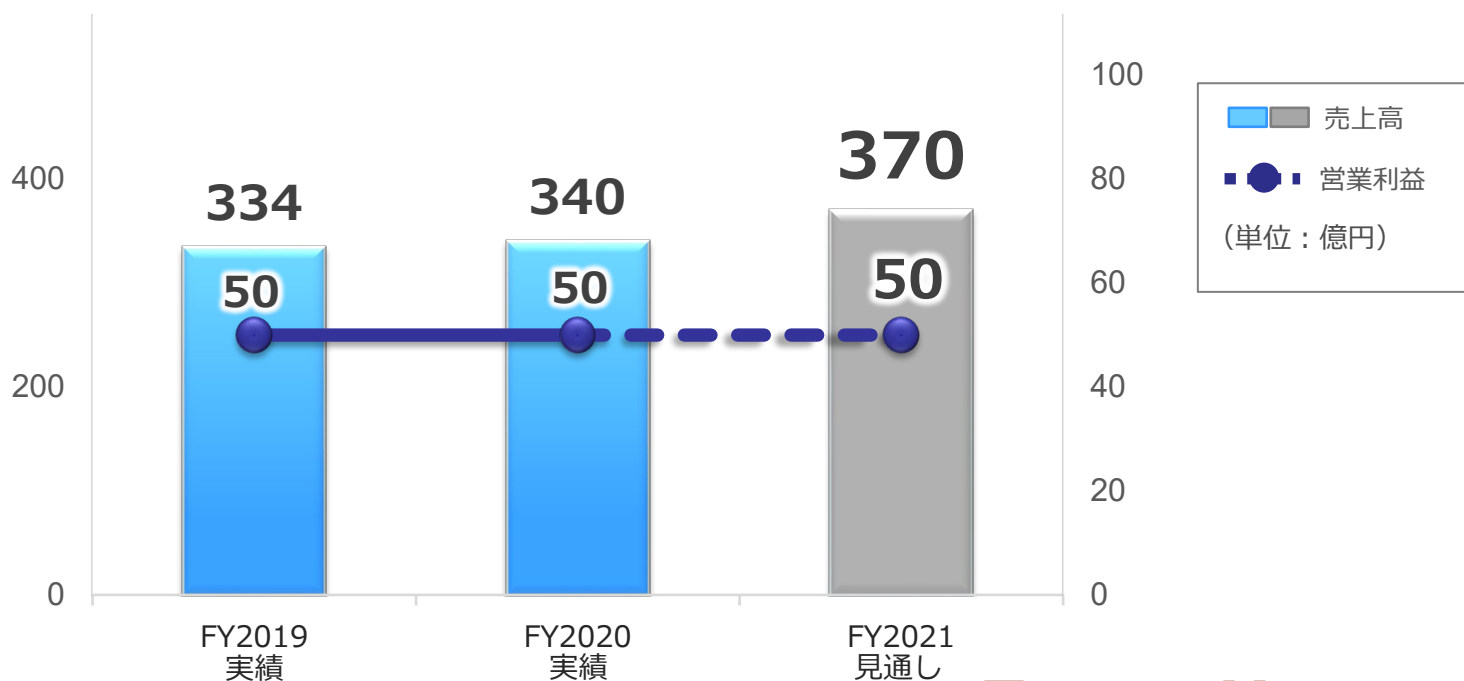
#### 新施設への期待

最先端開発・評価環境の拡充による

- ✓ 新製品開発の更なる加速
- ✓ OEMパートナーの拡充と共同開発を加速



- 建築DXビジネスへの投資強化
- 部材不足・部材価格や物流費の高騰影響拡大
- 国内ICT自動化施工：中小規模工事向けマシンガイダンス拡販
- 国内IT農業：戦略的新製品の投入



## ■ 人財・製品・施設の増強により建築DXを本格始動

### 人財強化

- ✓ 一級建築士を含むプロ人財をキャリア採用



### 建築向け製品ラインナップ拡充

- ✓ 建築向け新製品開発中



### 建築ソリューション体験施設新設 国内初!

- ✓ 先端技術で建築分野のソリューションを学べる新しい体験施設
- ✓ 建築施工の各種工程を屋内空間に再現  
建築DXを施工現場に近い環境で実体験
- ✓ ソリューション提案・デモ・教育・イノベーションの拠点に

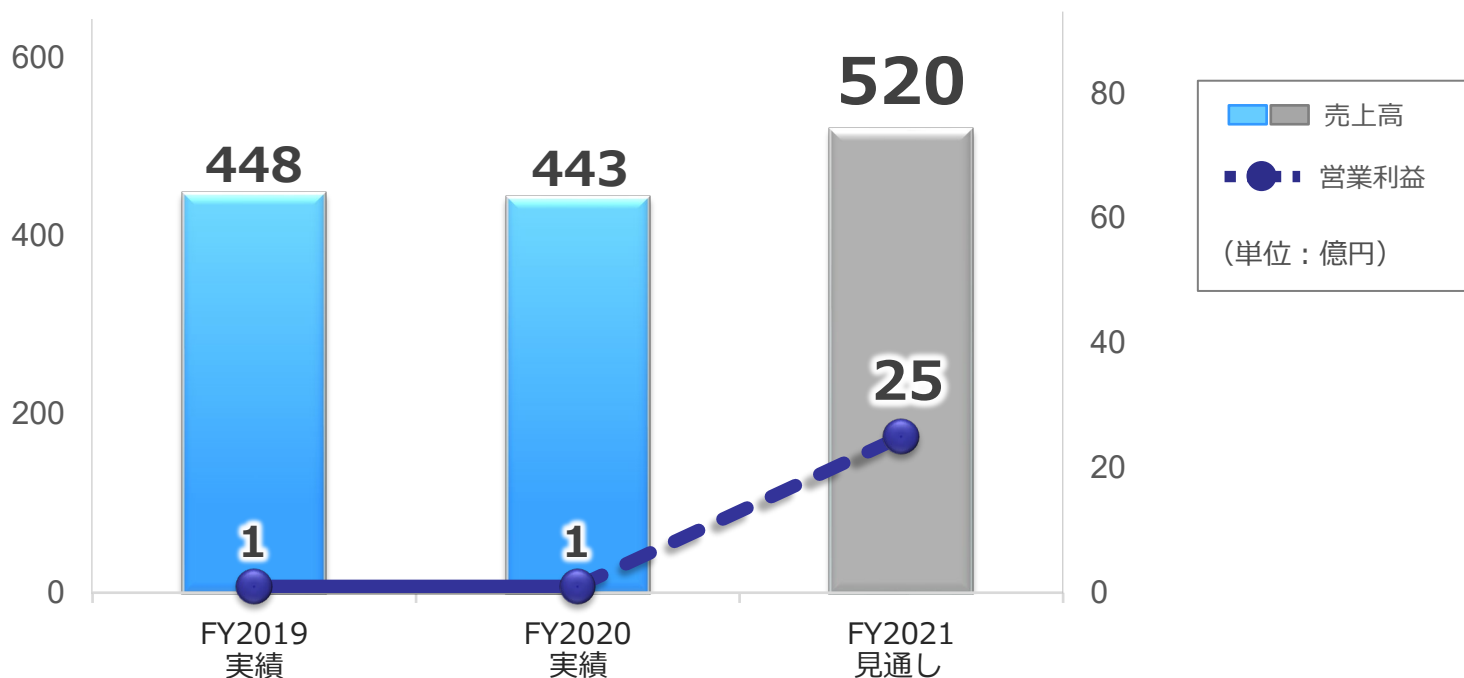
東京  
板橋区本社



定期的にセミナー・イベントを開催  
今期80社来場見込み



- 戦略的新製品Chronosによる販売拡大
- Maestro2/NW400によるスクリーニング市場拡大
- 中国事業は拡大基調も景気に先行き不透明感
- 部材不足・部材価格や物流費の高騰影響拡大



## ■ 1台3役で生産性向上





## 注力市場欧米・中国で市場拡大、コロナ禍でも販売伸長

### Maestro2 ※2



フルオート

- 眼底撮影
- リファレンスデータ搭載 ※4
- OCT撮影

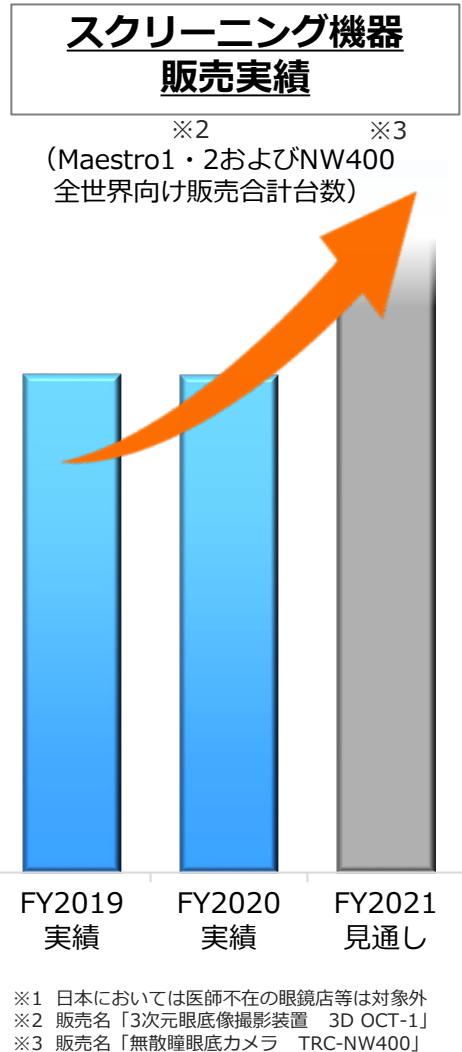
※4 健康眼データベースとの比較により医師の診断支援が可能

3DOCT-1Maestro2  
3D OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY





※1

- ・欧州眼鏡チェーン店向け大口受注獲得
- ・米国展示会での商談再開受注好調



### NW400 ※3





フルオート

- 眼底撮影
- + 読影サービス ※5
- + AI診断 ※6

※5 読影センターでの診断支援サービス 現在は米国のみ

※6 AIを活用した診断サービス (他社提供)

※1

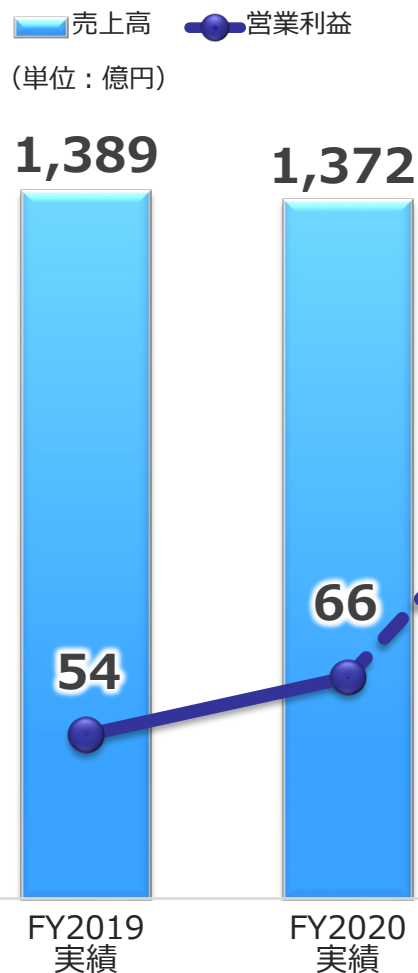
- ・中国AI眼科健診向け大口受注獲得
- ・米国眼鏡チェーン店向け大口受注獲得

TRC-NW400

# Ⅲ. まとめ

# まとめ

■ 上方修正 前年度比 売上117%、営業利益190%、純利益2.7倍



## 増収・増益・増配

	見通し	前年度比
売上高	1,600億円	+17%
営業利益	125億円	+90%
経常利益	105億円	+88%
純利益	65億円	+174%
配当	20円	前年度 10円

# 【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

Agriculture

# IV. 参考資料

# Topcon Report 2021 (統合報告書) 発行

■ 非財務情報コンテンツを更に充実させた統合報告書を9月に発行

■ ホームページ：<https://www.topcon.co.jp/invest/library/integration/>

## 89年の伝統あるベンチャー企業

～新市場創造の歴史と未来～

代表取締役社長 CEO 平野 聡



新型コロナウイルス感染症に奮闘された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また、最前線で治療やワクチン接種に従事されている医療従事者の皆様にも、心からの感謝を申し上げます。

当社も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2020年度は世界各地で事業活動への大きな制約を被りました。しかし、現在は回復基調が明らかになり、再び力強く未来へと歩もうとしています。こちらでは当社の事業領域である「医・食・住」のビジネスの成り立ちからその具体的な組織も交え、社長・平野聡がトプコンの現状とこれからを皆様へお伝えします。



### 価値創造プロセス

トプコンの持つ「経営資源/強み」を活かし、経営理念「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりを実現しようとする。また、ESGへの対応も重視し、持続可能な社会の実現に貢献して行きます。



### 社外取締役インタビュー

## 製造業のレジェンドが見たトプコンの未来



社外取締役  
いなば よしはる  
稲葉 善治  
ファナック代表取締役会長・トプコン社外取締役

1948年、茨城県生まれ。1973年に東京工業大学工学部機械工学科を卒業し、いすゞ自動車を経て1983年にファナックへ入社。数値制御部(NC)装置を創り上げて工作機械の精度を向上させ、今も世界で圧倒的なシェアを誇る数々の産業用ロボットの開発に携わる。2001年に同社代表取締役副社長、2003年に代表取締役社長、2016年に会長兼最高経営責任者(CEO)となり、2019年には代表取締役会長(現任)に就任。2020年に当社社外取締役へ就任、以来現職。

ファナック株式会社  
工作機械用CNC装置(工作機械の自動化)の先駆者。FA革命のバイオニアで世界首位、国内外とも50%以上の高シェア企業。売上高5,513億円、営業利益1,125億円(2021年3月期)。

# ホームページ サステナビリティページ新設

- コーポレートホームページ上に、当社が取り組む社会課題とSDGs等を説明した「サステナビリティ」ページを新設
  - ホームページ：<https://www.topcon.co.jp/sustainability/>



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### ● サステナビリティ

トプコンは「医（ヘルスケア）・食（農業）・住（インフラストラクチャー）」分野を事業領域としています。これらは世界中の人たちの生活に必須な分野です。

トプコンとSDGs



環境に対する取り組み



社会に対する取り組み



ガバナンスに対する取り組み



社会貢献活動



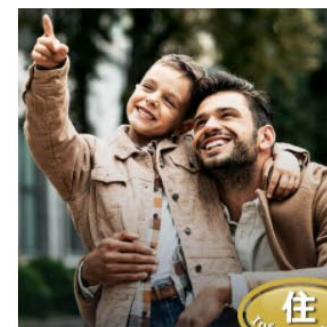
トピックス・ニュース



より多くの人に、  
健康で快適な日常生活を



誰もが、豊かな恵みを  
受けられる食生活を



世界中に、安心して  
生活できる社会基盤を



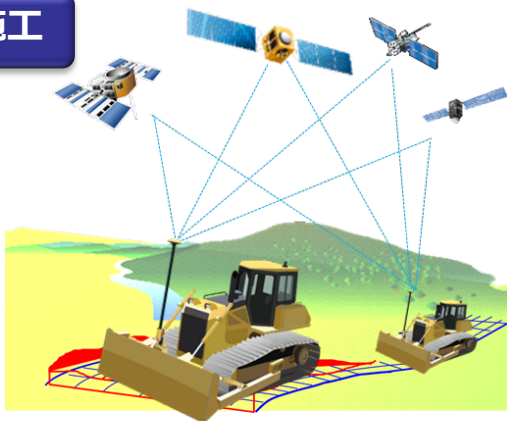
# SDGsへの取組み：CO2排出量削減への貢献

## ■ 建機・農機の自動化システムそのものが環境負荷低減に貢献

### ICT自動化施工



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



建機の自動化により  
稼働時間を約3割※1低減

当社製品による  
CO2排出削減量  
(当社推定)

全世界

60万トン/年※2

※1：出典-国土交通省i-Construction  
推進コンソーシアム  
「i-Constructionの進捗状況」(2019)

[https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03.5\\_kikaku\\_siryu\\_u6.pdf](https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03.5_kikaku_siryu_u6.pdf)

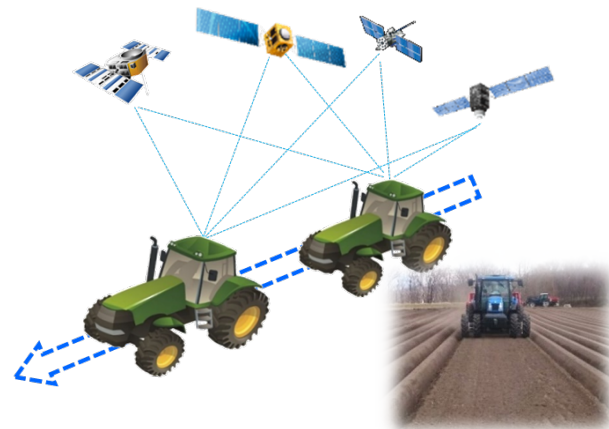
※2：算定根拠

建機1台あたりの年間CO2排出量推定値に、ICT施工の活用による作業時間想定削減率を乗じた建機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、ICT自動化施工機器の全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

### IT農業



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



農機の自動操舵システムにより  
稼働時間を約2割※3低減

当社製品による  
CO2排出削減量  
(当社推定)

全世界

50万トン/年※4

※3：出典-AEM 「The Environmental Benefits of Precision Agriculture in the United States」(2020)

<https://newsroom.aem.org/asset/977839/environmentalbenefitsofprecisionagriculture-2#.YBdQZR2Lc74.link>

※4：算定根拠

農業用トラクター1台あたりの年間CO2排出量推定値に、オートステアリングシステムの活用による燃料消費想定削減率を乗じた農機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、オートステアリングシステムによる自動操舵トラクターの全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

バンダーニュートラルの強みにより  
既存の各社建機・農機を後付けて自動化

自動化の普及拡大で  
更なるCO2削減が期待

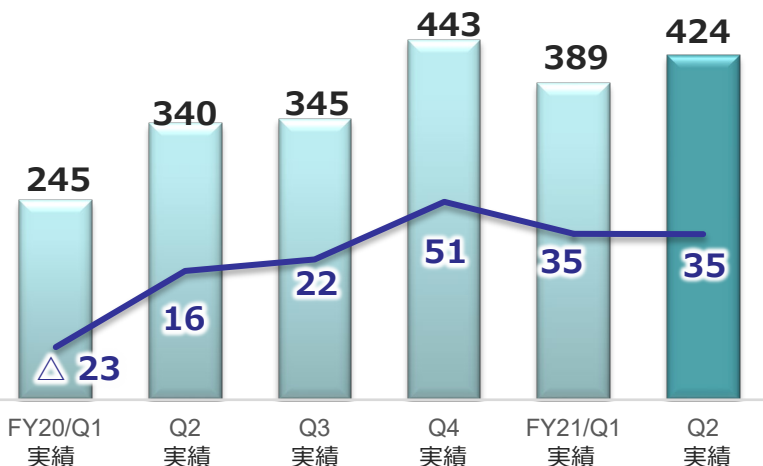
※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。  
©2021 Topcon Corporation



# 四半期別業績推移

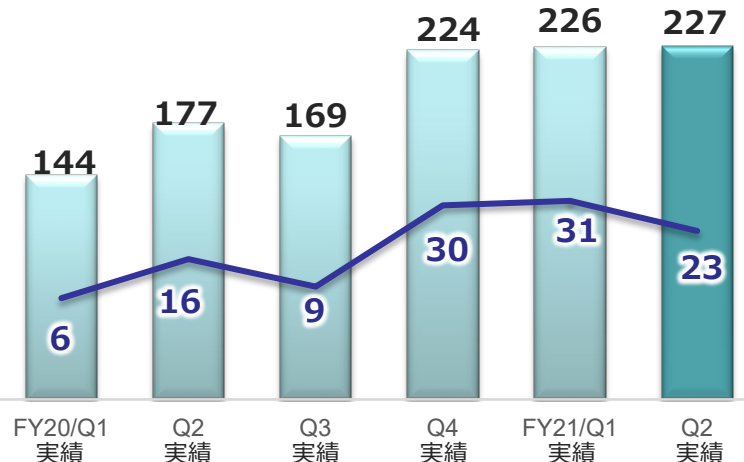
## ■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



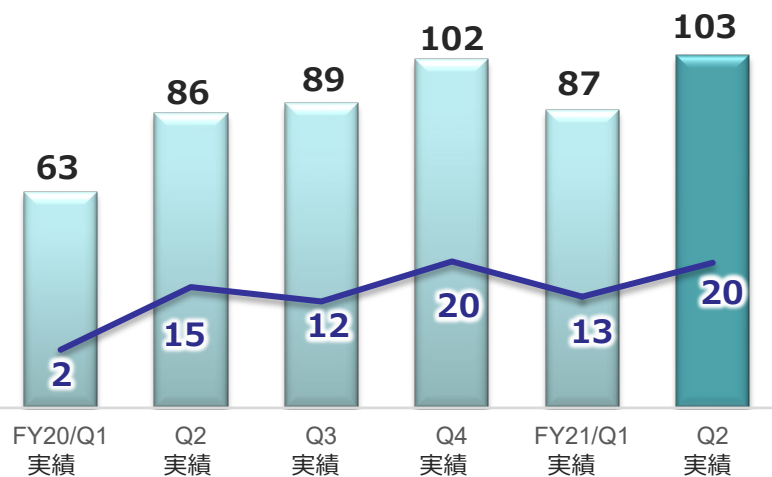
## ■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



## ■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



## ■ アイケア・ビジネス

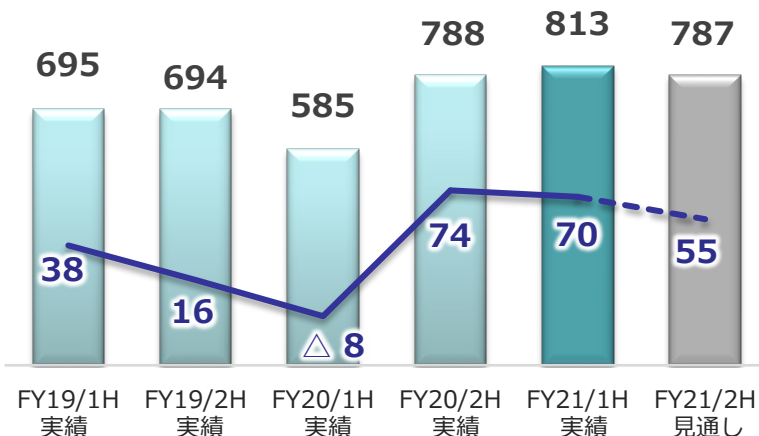
売上高 営業利益 (単位：億円)



# 半期別業績推移・見通し

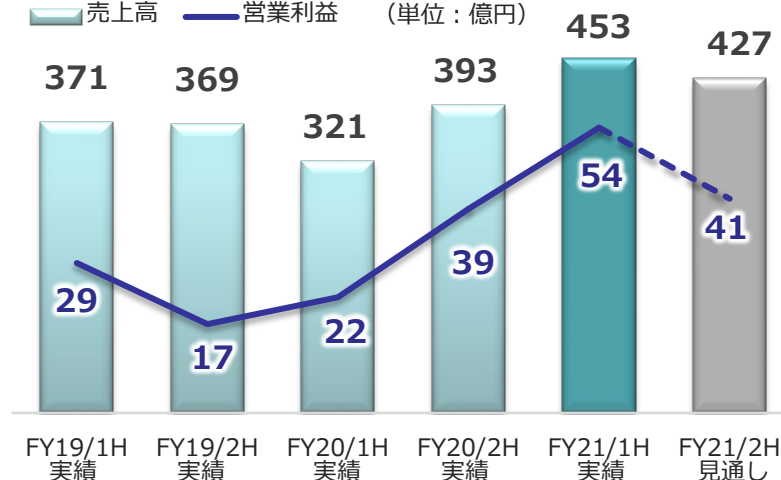
## ■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



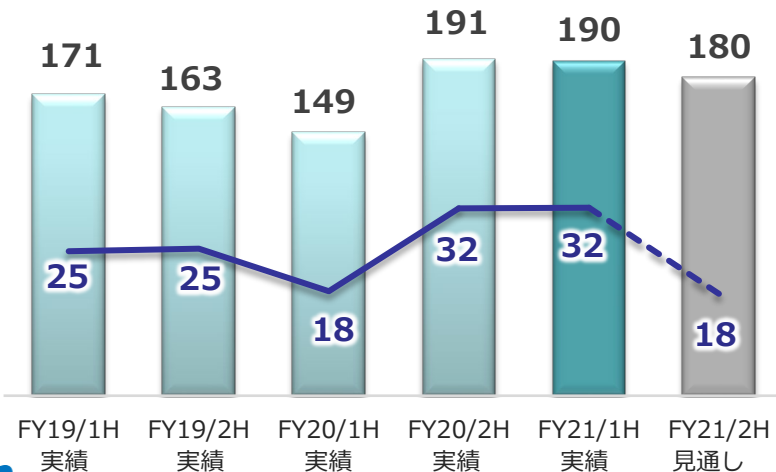
## ■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



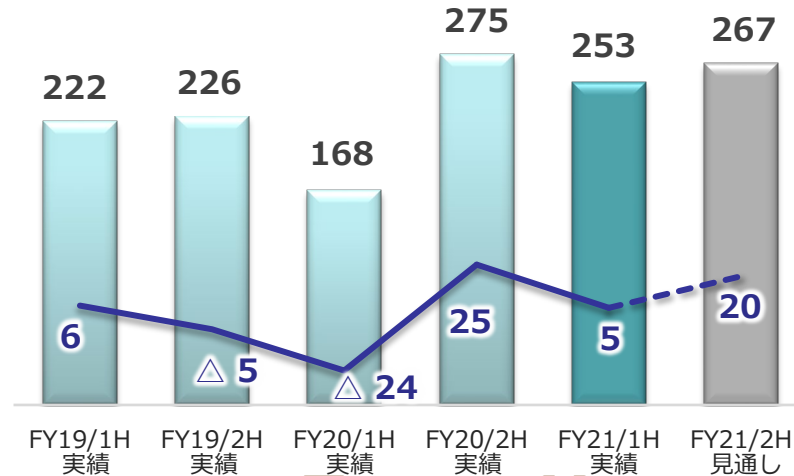
## ■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



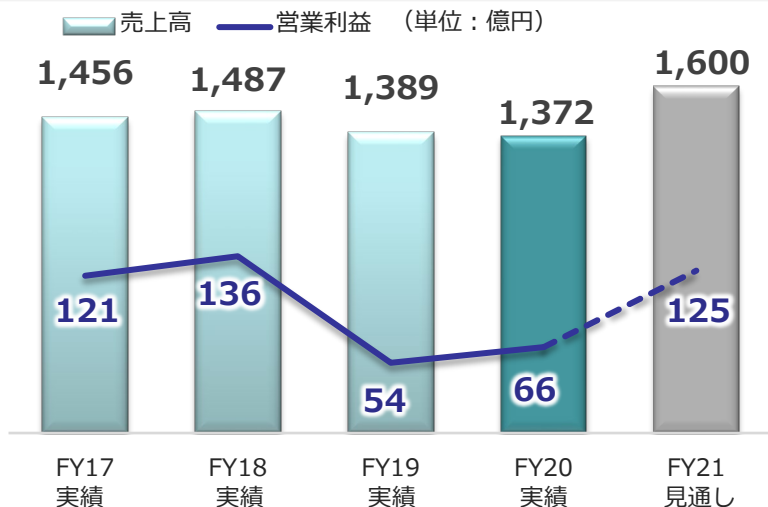
## ■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)

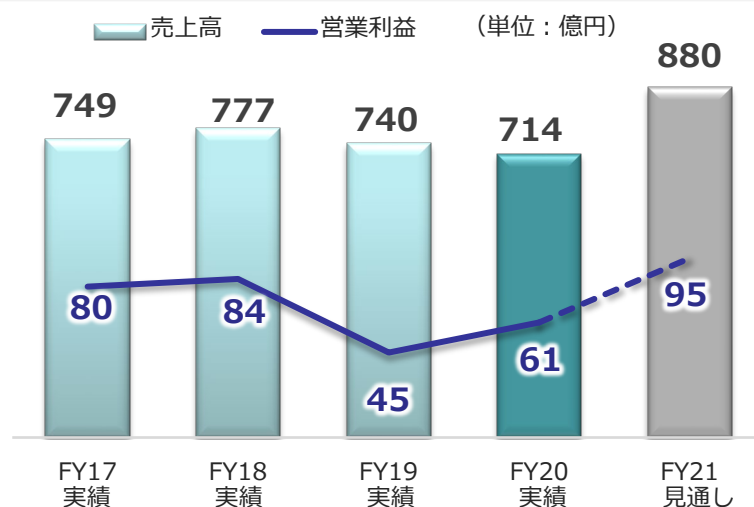


# 年間業績推移・見通し

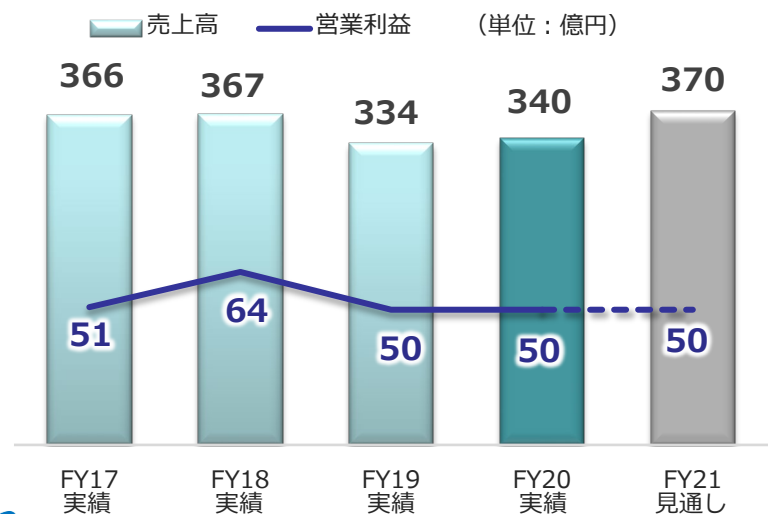
## ■ 全社



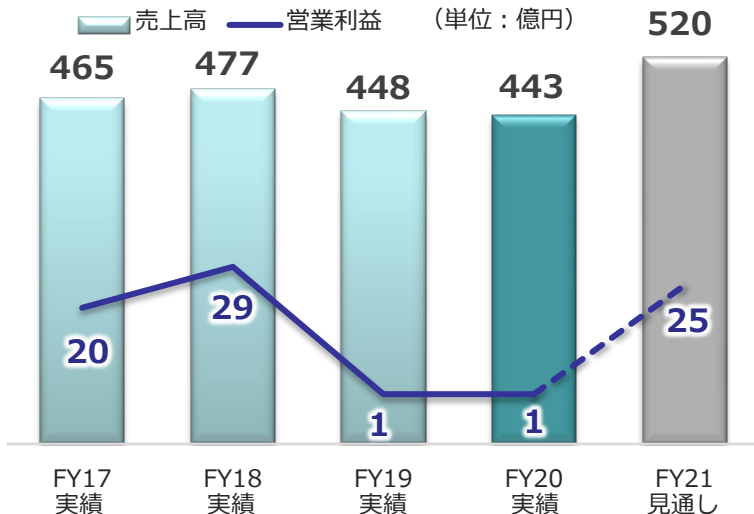
## ■ ポジショニング・カンパニー



## ■ スマートインフラ・ビジネス



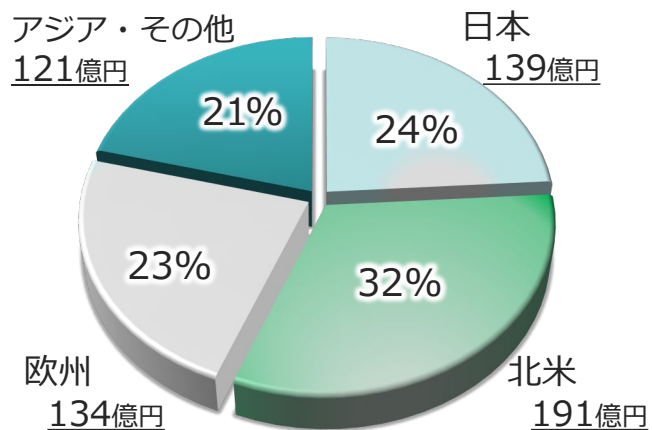
## ■ アイケア・ビジネス



# 地域別売上高

FY2020/上期

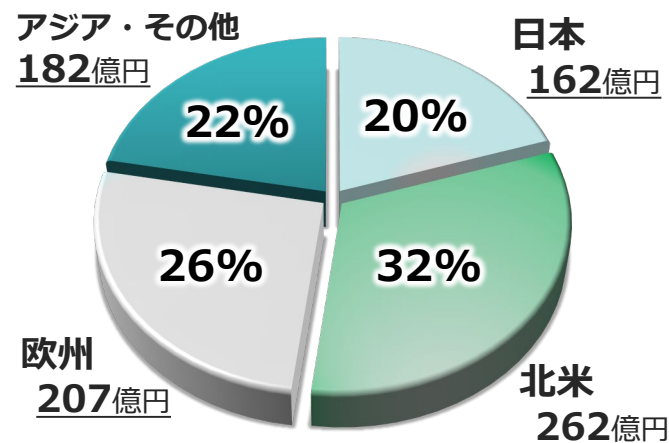
585億円



前年同期比  
+39%

FY2021/上期

813億円

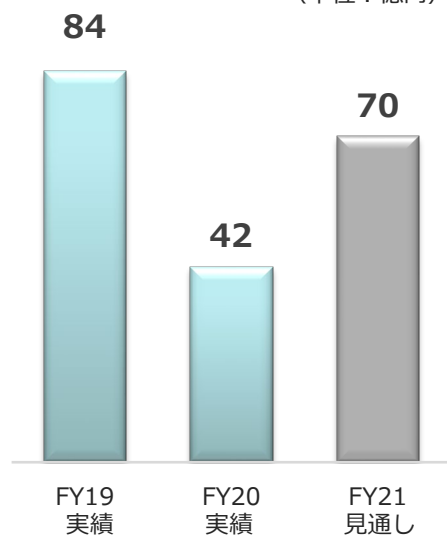


# 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

## ■ 投資額・費用見通し

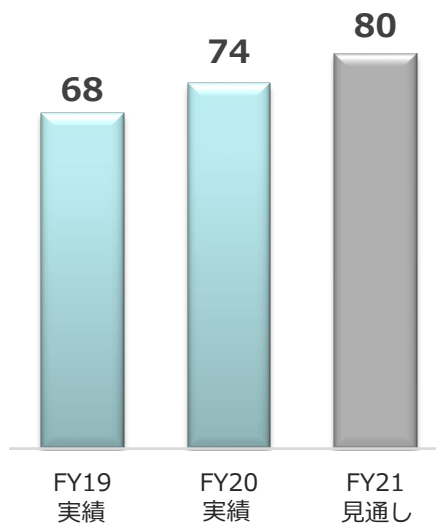
### 設備投資額

(単位：億円)



### 減価償却費\*

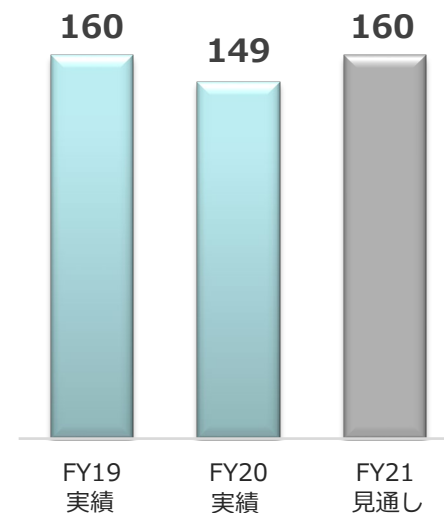
(単位：億円)



\*のれん償却費を除く

### 研究開発費

(単位：億円)



## ■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円



## 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

### お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <https://www.topcon.co.jp>